

低頻度大水害に対応した地域防災計画見直しのポイント(素案)

●予防計画関係

- ① 浸水対策の強化
 - ・氾濫範囲、浸水深の増加に伴う対応(避難者、孤立者対応)
 - ・地下空間の浸水の拡大への対応
 - ・避難路、避難所の変更並びに確保
- ② 情報通信設備の充実
 - ・ケーブルテレビ、地上デジタル放送の活用等情報収集、伝達方法の確保
- ③ 協定の締結などによる関係機関・民間団体との連携強化
 - ・避難人口、範囲の増加に伴う連携の強化
- ④ 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の適切な運用
 - ・低頻度大水害、中小河川の氾濫特性を踏まえた運用
- ⑤ 災害救助物資・資機材などの備蓄強化
- ⑥ 業務継続計画の作成・見直し

●応急対策関係

- ① 災害対策本部機能の強化
- ② 職員動員体制の見直し
- ③ 情報収集・伝達体制の強化
- ④ 災害広報体制・手段の充実
- ⑤ 避難所開設時における諸対応(委託管理施設等を避難所として開放した場合の扱い)
- ⑥ 交通規制の実施と道路交通情報提供体制の具体化

●復旧・復興対策関係

- ① 災害復旧・復興本部体制の具体化